

いちょうの森だより

いちょうの森こども園 園だより No.95 令和8年3月2日発行
〒709-0721 桜が丘東3-3-496
TEL:086-956-2022 FAX:086-956-2023



「やま組の小窓から」

やま組の小窓から、こどもたちから毎日様々な声が届きます。それは、今日の出来事だったり、その時の気持ちだったり、時には悩み事だったり…。

先日4歳児がいつものように話をした後「ほんじゃ、そろそろ遊びに行ってくるわ！」と外へ駆け出して行きました。4月頃の「何して遊べばいいのかな…」と不安気だった姿はもうそこにはありません。うれしいことです。小窓前の金魚にも名前が付きました。5歳児が金魚に名前がないことに気が付き、仲間と相談した後、ゆきちゃん・つきちゃんと名付けられました。名前が付くと愛着も増し、餌の食べ具合や水槽の様子に目が向き始め、餌やりと観察が日課になりました。

日々玄關で練り広げられるこどもたちの様子や聞こえる声から、こどもやクラスのその日の雰囲気を感じ取ることができると、私は自分の席を気に入っています。近頃では2歳・3歳児も小窓からのぞき、おしゃべりをし、クラスに戻っていきます。

私たちは常に、こどもたちの「伝えたい」気持ちに耳を傾け、声を聴くことができる大人でありたいと思います。そして人との対話を楽しめる人でありたいです。

今年度も終わりを迎えようとしています。保護者の皆様と一緒に、この一年のこどもたちの成長を共有できたら嬉しいです。今年度もこども園の運営にご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。



園長 西村 知恵



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。
<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

いっちょうやるか！（つき組）



関わってあそぶ楽しさ

こどもたちから「やりたい」と、リクエストがあるほど人気の“しっぽとり”。つき組で繰り返し楽しんでいるあそびです。

ルールはこどもたちがしっぽを付け、それを保育者が追いかけて取ります。こどもと保育者の追いかけ、逃げてのやり取りが面白いです。

あそびを繰り返していくうちに“どうやったらうまく逃げ切れるか”を考える子も出てきて、こどもたちは自分で作戦を考えながらあそび込む楽しさを味わっているようです。しっぽとりやイス取りゲームなどの集団あそびを通して人と関わって遊ぶ楽しさを共有していきたいです。

井上 隆雄



はじめてのだいりっぽ！

だるまさんがころんだ



しっぽとり



クラス自慢（にじ・ゆき・はな組）

みんなでリズム

3クラス合同でリズムあそびを楽しみました。

ピアノの音に合わせて小さな体で一生懸命それぞれの動きをすることこどもたち。にじ組さんの姿を見て「やってみよう」と見よう見まねで楽しむゆき組。はな組も、大人と手をつないで走ったり、はいはいでついて行ったりしようとする姿がとてもすてきでした。

渡中 有紀子



今月のうた（にじ組）

♪てをつなごう

てをつなごう みんなでてをつなごう
ほらほら おおきなおなべができました
まあるいまめが ポンポンポン
おなべのなかで はねました

竹林 亜純

みんなで輪になるのが
楽しいこどもたちです



2月のベストショット（一年のまとめ）

伝え合う（そら組）

おやつを食べ終わった後のこと。Aさんのコップから水滴が床に落ちるのを見たBさん。そのことに気づかないAさんに「こぼれとるからふかんと」とBさんが言いました。すかさず「とうめいだからふかんでもいいよ」とAさんが言い返すと「とうめいでもふかんと」とBさん。そんな2人のやりとりを「どんな納得解が出るかな？」と掃除をしながら見守っていた保育者でしたが、気づかぬ間に水滴を拭いてしまって…。2人はそのことに気づき「はらさんがふいちゃったよ」と。

自分の思いを相手に伝えながら相手の思いも聞こうとする姿が素敵だなと思う一コマでした。

鈴木 美夕



人前で歌うこと（ほし組）

4月からとけいのうたやたなばたさま、ゆきなど、色々なうたに触れてきました。今回はクラスから飛び出して、コンサートを開催し、全クラスのみんなに合唱や手合わせ、合奏をしているところを見てもらいました。

たくさんの方が見に来てくれ、緊張もしましたが、やり切ることができました。終わった後には「たのしかった」と、嬉しそうなこどもたちでした。

そら組になると、誕生会や祭りなど、人前で歌う機会が多くなりますが、みんなの前で歌う姿が今から楽しみです。

野上 香菜子



身の回りのこと（つき組）

衣服の着脱、持ち物の後始末など自分の身の回りのことを“やってみよう”と、4月から積み重ねていきました。最初の頃は「せんせいやって」「できない」と言っていたこどもたちも今では「こうやるんよね」「みて！できたよ」自分でやってみようとしています。また、“できた”ということが嬉しく、それが自信にも繋がっているように思います。

今までの経験から、自分よりも小さい友だちに対して優しく接する姿もあります。「こうするんよ」と靴や上着を脱ぐ手伝いをしたり、一緒に遊んでみたりしています。優しいお兄さんお姉さんとしても大きくなったなと成長を感じています。

井上 隆雄

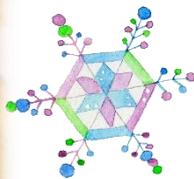




自分でできる（にじ組）

自分でできることが増えたこどもたち。「〇〇ちゃんできるよ！」と自信をもって自分でする姿に変わっていきました。できないことも保育者がする姿を見て真似てし、自分でできるようになりたいという姿に大きくなったなと成長を感じます。来年度からは2階に上がり上のクラスに仲間入りです。大きくなったにじ組のこどもたちのつき組での姿が今から楽しみです。

竹林 亜純



伝える（ゆき組）

この一年間で盛り上がったごっこあそび。夏祭り、焼き芋パーティー、お風呂等さまざまなごっこあそびを楽しんできました。言葉でのやりとりが難しかった4月当初でしたが、最近は友だちと言葉でのやりとりをする場面が多く見られます。ごっこあそびを通して「いらっしゃいませ」「〇〇ください」など言葉でやりとりしている姿を見ると、大きくなったなと成長を感じる日々です。

藤田 葵



やってみたい（はな組）

4月から約1年たち、すっかり大きくなったはな組のこどもたち。最近では身の回りの事に興味を持ち、自分でしようとする姿が増えてきました。ズボンの着脱では、足を入れようとしたり、大人と一緒に『1、2、の3〜』で上にあげようと引っ張ったり、一生懸命履こうとする姿があります。履くことができたとしても嬉しそうな表情で保育者と顔を見合わせ「できたね」とほっこりタイム。こどもたちが安心できる環境のもとで、これからもいろいろなことに挑戦していきたいです。

渡中 有紀子

